

平成21年度さいたま市 浦和区 区長マニフェスト評価書



はじめに

浦和区は、区の将来像「にぎわいと文教の調和する緑豊かなまち」の実現に向けて、区民の皆さまとの協働により、「住みたい・住みよい・住んでよかった」まちづくりに取り組んでおります。平成21年10月に公表した『浦和区区長マニフェスト』でも、この方針に則した事業を掲載し、具体的な目標の達成に努めてまいりました。

区長マニフェストは、その実施状況を、年度末に検証評価することとしております。21年度は、各事業の「目的・内容」、「目標・指標」、「実績・成果」を基に『区民アンケート』を行い、その結果と区長による自己評価の結果をまとめました。それが、この『区長マニフェスト評価書』です。

浦和区のまちづくりについて、区民の皆さまのご理解とご支援をいただくうえで、この評価書がその一助となれば幸いです。

平成22年4月

浦和区長 利根 昇

評価方法

以下の、3つの方法により総合的に評価しました。

1. 一般評価(アンケート)

期間:平成22年3月26日～4月9日(郵便返信で消印有効)

設問:本評価書 頁『評価結果(詳細)』をご覧ください。

対象者:無作為抽出で20歳以上の浦和区在住者1,500人(うち、459人回答)

2. 有識者評価(アンケート)

期間:直接郵送等

設問:一般評価と同じ

対象者:浦和区民会議委員等52人(うち、20人回答)

3. 区長評価

実施した事業の実績・成果を基に、以下の評価ランクを、区長が選定しました。

A:目標をかなり上回っていた

B:目標をやや上回っていた

C:目標どおりだった

D:目標をやや下回っていた

E:目標をかなり下回っていた

検証評価(まとめ)

※詳細な事業内容は、5頁『検証評価(詳細)』をご覧ください。

1. 評価結果

(1) 取組及び実施事業の評価について

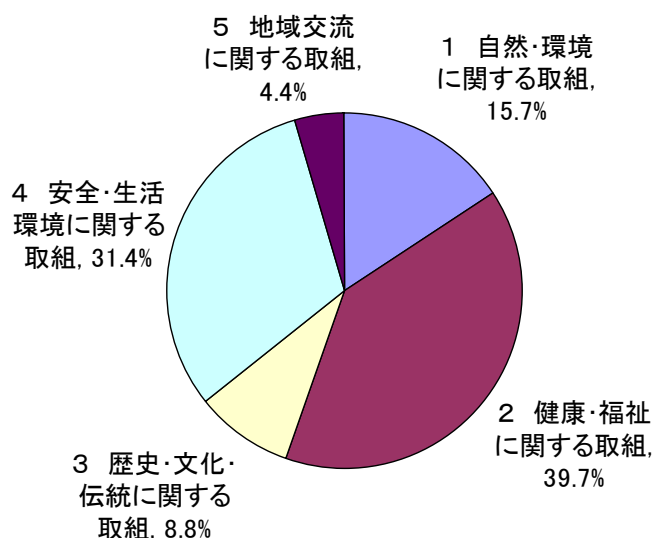
取組／事業	区長 評価	一般評価 ()は有識者評価		
		事業について		③取組の 充実度
		①取組への 貢献度	②実績成果 の度合	
1 「多様な交流のあるまちづくり」のための取組	-	-	-	81% (80%)
(1)「区民のつどい」開催事業	B	90% (95%)	90% (79%)	-
(2)「ふれあいまちづくりイベント」開催事業	B	87% (100%)	94% (90%)	-
2 「文教のまちづくり」のための取組	-	-	-	87% (90%)
(1)中学生作品展開催事業	C	95% (100%)	95% (95%)	-
(2)文化の小径スタンプ巡り事業	C	89% (100%)	95% (95%)	-
3 「にぎわいのあるまちづくり」のための取組	-	-	-	87% (95%)
(1)サッカーフラッグ掲出事業	C	95% (100%)	98% (100%)	-
(2)浦和のうなぎ PR 事業 重点	B	89% (95%)	95% (94%)	-
4 「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のための取組	-	-	-	92% (100%)
(1)青色防犯パトロール事業	B	99% (95%)	96% (100%)	-
(2)夢の翼セーフティープロジェクト事業	B	98% (95%)	95% (100%)	-
(3)ごみゼロ運動事業	B	98% (95%)	95% (100%)	-
(4)花と緑の豊かなまちづくり推進事業 重点	A	97% (100%)	97% (100%)	-
(5)妊産婦の健康管理や子育て支援事業	B	99% (100%)	97% (100%)	-
(6)うらわメタ防クラブ事業	C	95% (100%)	95% (95%)	-

取組／事業	区長 評価	一般評価 ()は有識者評価		
		事業について		③取組の 充実度
		①取組への 貢献度	②実績成果 の度合	
5 「参加と協働によるまちづくり」のための取組	-	-	-	91% (75%)
(1) コミュニティの広場事業	B	95% (95%)	97% (90%)	-
(2) FM 放送による広報事業	C	85% (90%)	95% (88%)	-
(3) 環境に配慮した活動(ISO14001)への積極的な取組 重点	D	96% (100%)	89% (95%)	-
6 「区民満足度アップ」のための取組	-	-	-	87% (85%)
(1) 明るい区役所づくり推進事業 重点	B	97% (95%)	90% (100%)	-
(2) 区役所職員の接遇研修事業	C	90% (100%)	89% (85%)	-
(3) 認知症サポーター養成講座事業	B	98% (100%)	92% (100%)	-
(4) 業務改善事業	B	96% (100%)	91% (95%)	-

事業の、取組への貢献度
 取組のために行った事業が、どれだけ有効・必要なものであったかを選択。
 選択した総数のうち、「有効・必要とは思わない」の選択を除く割合。
 各事業の、実績成果の度合い
 で、「有効・必要である」、「なんともいえない」を選択した場合で、事業の実績成果が、
 適切・十分であったかを選択。
 選択した総数のうち、「やや不適切・不十分」、「不適切・不十分」の選択を除く割合。
 取組の充実度
 取組のために実施した事業及び事業数から、取組が充実していたかを計る。
 選択した総数のうち、「やや不適切・不十分」、「不適切・不十分」の選択を除く割合。

(2) 今後、浦和区で重点的に取り組んでほしい分野について(区民アンケート)

取組分野	要望割合(全体)
1 自然・環境に関する取組	15.7%
2 健康・福祉に関する取組	39.7%
3 歴史・文化・伝統に関する取組	8.8%
4 安全・生活環境に関する取組	31.4%
5 地域交流に関する取組	4.4%



(3) 主な分析について

・分析対象

「多様な交流のあるまちづくり」のための取組における「『区民のつどい』開催支援事業」及び「ふれあいまちづくりイベント開催事業」に関する評価結果の年齢層別傾向(一般評価)

・分析結果

下表のとおり、2事業とも、特定の年齢層において、「プラス評価¹」された方の割合を、「評価保留²」された方の割合の方が上回っている。(黄色部分) (単位:%)

		年齢層	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
区民のつどい 開催支援	取組への 貢献度	プラス評価 の割合	53.1	51.5	39.5	31.6	50.6	67.2	61.9
		評価保留 の割合	37.5	33.8	43.2	56.1	40.0	32.8	33.3
	実績成果 の度合	プラス評価 の割合	46.4	46.4	38.5	35.3	42.3	57.9	55.6
		評価保留 の割合	42.9	44.8	50.8	58.8	47.4	35.1	44.4
ふれあい まちづくり イベント 開催	取組への 貢献度	プラス評価 の割合	50.0	58.8	42.0	35.6	46.3	69.5	66.7
		評価保留 の割合	37.5	26.5	35.8	47.5	40.2	30.5	33.3
	実績成果 の度合	プラス評価 の割合	51.9	54.4	40.3	42.9	44.6	64.4	63.2
		評価保留 の割合	40.7	40.4	51.6	51.0	47.3	30.5	36.8
取組全体	取組の 充実度	プラス評価 の割合	54.8	50.0	36.7	40.7	48.2	66.7	66.7
		評価保留 の割合	25.8	32.4	35.4	30.5	38.6	24.5	27.8

1 プラス評価 : 「有効・必要である」または「適切・十分」及び「おおむね適切・十分」を選択

2 評価保留 : 「なんともいえない」または「どちらともいえない」を選択

2 . 総評

取組及びその実施事業について

P.1の「(1)取組及び実施事業の評価について」に示したとおり、区長評価では、全19事業のうち、A評価が1、B評価が11、C評価が6、D評価が1となりました。

アンケート結果でも、概ね同様の評価をいただきました。ただし、「多様な交流のあるまちづくりのための取組」に位置づけた2事業については、いずれも目標どおりに実施したところですが、取組の充実度がやや低い評価を受けました。詳細にみると、これらの事業については、特定の年齢層で評価を保留されている方がプラス評価された方より多く、事業内容の周知不足(偏り)があったのではないかと考えられます。その証左として、アンケートの意見回答には「イベントの開催を知らなかった」「PR不足」といったご記入が多く、「参加しているのは一部の人だけ」というご意見もありました。

なお、有識者評価は、概ね一般評価と同様か、やや上回るものでしたが、「参加と協働によるまちづくり」に向けた取組については、充実度の点でやや低い評価となりました。

重点的に取り組んでほしい分野について

P.3の「(2)今後、浦和区で重点的に取り組んで欲しい分野について」における特徴的な結果としては、「2 健康・福祉に関する取組」が、39.7%と、もっとも多い要望となりました。「4 安全・生活環境に関する取組」も、31.4%と高くなっています。一方、「5 地域交流に関する取組」が、4.4%と低くなっています。

まとめ・今後の方向性について

(1)重点的に取り組んで欲しい分野としては、「5 地域交流に関する取組」についての区民要望は低い値となっています。しかし、さいたま市が市民の絆、地域の絆を重視する中で、浦和区の「多様な交流のあるまちづくり」に向けた取組の充実は必要不可欠なものといえます。

この取組については、充実度が低いという評価となっていることから、22年度は重点事項とし、各事業の内容をより魅力あるものとするとともに、より多くの区民に関心をもってもらい、参加してもらえよう努めます。

広報事業の評価が比較的低かったことも踏まえ、事業の周知方法など、今後の検討課題とします。

(2)浦和区では、重点的に取り組んで欲しいという要望が多かった「2 健康・福祉に関する取組」及び「4 安全・生活環境に関する取組」の2つの分野を「やさしく、人間味豊かなまちづくりのための取組」にまとめ、21年度は6つの事業を実施しました。いずれの事業も「貢献度」、「実績」ともに比較的高い評価を得ています。

しかし、子育て支援に向けた事業では、定員の関係で利用申込をお断りせざるを得なかった事例があり、所管する部署では課題と捉えました。アンケートの意見回答に定員増を望むご意見があったことも踏まえ、22年度は実施回数を追加し、より多くの方にご利用の機会を提供します。

また、安心・安全に向けた事業についても、高い要望にこたえるべく、22年度当初から実施体制を強化します。

検証評価（詳細）

※ 内は、アンケートの質問内容です。

質問1 平成21年度に、浦和区で取り組んだ主な事業についての、皆さまのご意見をお伺いします。

以下に、記載した 1～6 の、各取組の内容、目標、実績をご覧いただき、太枠内の設問にお答えください。（該当する番号を○で囲んでください）

1 「多様な交流のあるまちづくり」のための取組

(1) 区民のつどい開催事業

区長
評価

B

目的・内容	区民がふれあい、楽しく活動することにより世代を超えた多様な交流を活性化し、区民相互の理解と共感を広げ、コミュニティ意識の醸成を図るための事業です。			
目標・指標	区民のつどい3月開催。 かつて中山道の浦和宿で、毎月2と7のつく日に開かれていた「二・七の市」にちなんで、常盤公園をメイン会場に歴史展示や農産物の直売、ステージイベントを繰り広げる第7回「中山道浦和宿・二七の市」を、桜の開花時期も考慮して3月末に開催することにしました。			
実績・成果	区民のつどい3月27日開催(予定)。 中仙道浦和宿・二七の市実行委員会による「中山道浦和宿・二七の市」を開催します。			
①この事業は、「多様な交流のあるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
【回答%】				
一般(回答数:446人)		50%	40%	10%
有識者(回答数:20人)		75%	20%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
【回答%】						
一般(回答数:394人)		6%	39%	45%	8%	2%
有識者(回答数:19人)		21%	47%	11%	16%	5%

(2) ふれあいまちづくりイベント開催事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	区民がふれあい、楽しく活動することにより世代を超えた多様な交流を活性化し、区民相互の理解と共感を広げ、コミュニティ意識の醸成を図るためイベントを開催する事業です。
目標・指標	ふれあいまちづくりイベント 2回開催。 浦和駅東口駅前周辺と浦和コミュニティセンターとで、各1回開催することになりました。
実績・成果	3月27日開催。 参加と協働ふれあいまちづくり推進委員会により、浦和駅東口駅前周辺でダンスフェスティバルや地元アーティストによる音楽祭、商店会運営の屋台などを展開する「URA WAK WAK 東口まつり」を開催します。

①この事業は、「多様な交流のあるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？

【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:446人)		51%	36%	13%
有識者(回答数:20人)		65%	35%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ...》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？

【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:387人)		8%	43%	43%	5%	1%
有識者(回答数:19人)		11%	42%	37%	5%	5%

(3) (1)～(2)の事業について、個別にお伺いしましたが、「多様な交流のあるまちづくり」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:438人)		6%	42%	33%	14%	5%
有識者(回答数:20人)		5%	60%	15%	15%	5%

2 「文教のまちづくり」のための取組

(1) 中学生作品展開催事業

区長 評価	C
----------	---

目的・内容	子ども達の夢と希望を育むために、文化芸術振興の一環として、区役所ロビーにおいて中学生の絵画作品展を開催する事業です。
-------	--

目標・指標	作品展 11 月開催。 芸術の秋にふさわしい催しとして 11 月に開催することにしました。夏休み後に小学生の作品展を実施し、周知期間を置き、この時期の実施としました。			
実績・成果	11 月 27 日～12 月 7 日開催。 区内中学校 8 校から選出した作品を、24 点展示しました。来観者数は 2,374 人を数え、芸術・文化活動の支援を図ることができました。			
この事業は、「文教のまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:453人)		74%	21%	5%
有識者(回答数:20人)		75%	25%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:420人)		22%	48%	25%	4%	1%
有識者(回答数:19人)		16%	58%	21%	5%	0%

(2) 文化の小径スタンプ巡り事業

区長
評価

C

目的・内容	「浦和区文化の小径マップ」を幅広く区民に周知するとともに、地域資源の再発見と郷土愛の醸成を図るために、「浦和区文化の小径スタンプ巡り」を実施するものです。			
目標・指標	スタンプ巡り 3 月実施。 浦和区文化の小径づくり推進委員会の検討を経て、様々な“浦和の魅力”を紹介できるよう、文化財や緑のある空間などをゆっくりと回るコースを設定しました。「区民のつどい」との相乗効果を狙って同日実施としました。			
実績・成果	3 月 27 日実施。 浦和駅東口駅前市民広場をスタート地点、ゴールを常盤公園(中山道浦和宿二七の市会場)として実施します。			
この事業は、「文教のまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:447人)		53%	36%	11%
有識者(回答数:19人)		58%	42%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:393人)	11%	42%	42%	4%	1%
有識者(回答数:19人)	16%	37%	42%	5%	0%

(3) (1)～(2)の事業について、個別にお伺いしましたが、「文教のまちづくり」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:426人)	10%	46%	31%	9%	4%
有識者(回答数:20人)	15%	60%	15%	10%	0%

3 「にぎわいのあるまちづくり」のための取組

(1) サッカーフラッグ掲出事業

区長 評価	C
----------	---

目的・内容	駅周辺のにぎわいを創出し、商店街の活性化を図り、さらに浦和レッズのホームタウンとして、サッカーのまちを演出し、区の魅力を向上させるための事業です。
目標・指標	サッカーフラッグを、区内すべての商店街の街路灯 1,200 か所に掲げることにしました。
実績・成果	Jリーグの開幕に合わせて、3月中に商店街街路灯に掲げる予定です。 サッカーのまち浦和の商店街にとって、このフラッグは、もはや欠かせない景色の一部として親しまれています。

この事業は、「にぎわいのあるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？			
【回答%】 \ 選択肢	1 有効・必要 である	2 なんとも いえない	3 有効・必要とは 思わない
一般(回答数:448人)	78%	17%	5%
有識者(回答数:19人)	74%	26%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:423人)	35%	47%	16%	1%	1%
有識者(回答数:19人)	16%	63%	21%	0%	0%

(2) 浦和のうなぎPR事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	やなせたかしさんが生みの親で、さいたま市の観光大使でもあるキャラクター「浦和うなこちゃん」を活用して、伝統産業に指定された「浦和のうなぎ」をPRする事業です。
目標・指標	区内で開催される様々なイベント等に「浦和うなこちゃん」の着ぐるみを積極的に参加させることにしました。 また、JR浦和駅西口の「浦和うなこちゃん」像の「うちわ」を、時節に合わせたものに随時交換し、話題づくりにも努めるようにしました。
実績・成果	「浦和うなこちゃん」像がテレビ番組でも紹介されるなど、その存在が注目されることにより、「浦和のうなぎ」の認知度も高まり、区内の商店街の活性化にも繋がっています。

この事業は、「にぎわいのあるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？

【回答%】	1 有効・必要である	2 なんともいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数: 449人)	53%	36%	11%
有識者(回答数: 19人)	63%	32%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？

【回答%】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数: 393人)	21%	40%	34%	4%	1%
有識者(回答数: 17人)	24%	29%	41%	6%	0%

(3) (1)～(2)の事業について、個別にお伺いしましたが、「にぎわいのあるまちづくり」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

【回答%】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数: 437人)	16%	47%	24%	9%	4%
有識者(回答数: 19人)	21%	53%	21%	5%	0%

4 「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のための取組

(1) 青色防犯パトロール事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	区民との協働で進める地域の防犯活動を充実させ、安心・安全なまちづくりを進めるため、青色回転灯を備えた車両による巡回を実施する事業です。
-------	---

目標・指標	児童の下校時間に合わせ、概ね午後 2 時から 5 時の間、学校周辺を中心に、職員による週 2 回のパトロールを実施することにしました			
実績・成果	週 2 回の実施により児童の下校時間の見守りを実施したほか、警察署からの巡回依頼にも迅速に対応し、地域の防犯啓発に努めました。 また、温室効果ガスの削減を図るとともに、区民の環境問題への関心を高めるため、1月末に最新の電気自動車を導入しています。			
この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:446人)		90%	9%	1%
有識者(回答数:20人)		85%	10%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:440人)		34%	47%	15%	3%	1%
有識者(回答数:19人)		32%	58%	10%	0%	0%

(2) 夢の翼セーフティープロジェクト事業

		区長 評価	B
目的・内容	交通安全の啓発活動「夢の翼セーフティープロジェクト」として、児童が交通事故にあった状況とヒヤっとした箇所を表示した交通事故マップ「ヒヤリハットマップ」の作成と通学路における危険箇所の点検に加え、交通安全に向けた街頭キャンペーンやパレードを実施する事業です。		
目標・指標	ヒヤリハットマップ作成と通学路点検を 3 校で実施。 キャンペーン 6 回とパレードを 2 回実施。 各学校において 3、4 年おきに通学路点検またはヒヤリハットマップの見直しをすることが必要なため、今年は 3 校で実施することにしました。 キャンペーンとパレードは、春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中の 4 回、交通事故死ゼロを目指す日の 2 回その他、高齢者及び自転車利用者を対象とした交通安全啓発が必要なため、計 8 回実施することにしました。		
実績・成果	ヒヤリハットマップを 5 学区で作成、通学路点検を 2 校で実施。 キャンペーン 11 回とパレード 2 回実施。 ヒヤリハットマップを保護者や学校と協働で作成することにより、地域の交通安全についてより考える機会を提供できました。マップは約 3,000 人の児童に配布し交通事故の防止に繋がっています。 高齢者、自転車利用者などにポイントを絞り効果的な交通安全啓発を行い、		

	また、春秋のキャンペーンにおいて、浦和警察署、交通安全関係団体、交通指導員、交通安全保護者の会等が一堂に会してパレード等も実施した結果、より多くの区民の交通安全意識を高めることができました。			
この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしゃない	3 有効・必要とは思わな
一般(回答数:445人)		86%	12%	2%
有識者(回答数:20人)		95%	0%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:441人)		27%	51%	17%	4%	1%
有識者(回答数:19人)		11%	84%	5%	0%	0%

(3) ごみゼロ運動事業

区長 評価	B
----------	----------

目的・内容	ごみの無い美しいまちづくりの推進に向けて、地域清掃活動を実施するとともに、地域団体の方に作成していただいた「ごみゼロ運動」啓発品を浦和駅前で配布する事業です。
目標・指標	11月実施。 区内の各自治会において、一斉に地域清掃活動をしていただくということで、落ち葉の季節を考慮し、11月の実施としました。
実績・成果	71自治会(4,638人)の参加、ごみ収集2,600kg、 キャンペーン啓発用品900セット配布。 「浦和区秋のごみゼロ運動」として多くの自治会の皆さんに、地域清掃に参加していただくことができました。また、啓発品の配布により「ごみゼロ運動」に対する区民の関心を高めることもできました。

この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしゃない	3 有効・必要とは思わな
一般(回答数:448人)		84%	14%	2%
有識者(回答数:20人)		90%	5%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:439人)	29%	48%	18%	4%	1%
有識者(回答数:19人)	5%	95%	0%	0%	0%

(4) 花とみどりの豊かなまちづくり推進事業

区長 評価	A
----------	---

目的・内容	<p>まちに花と緑の潤いを与え、環境美化に取り組む事業です。区内JR3駅(浦和駅、北浦和駅、与野駅)周辺を季節の花で彩る活動を、区民と障害者団体、地域の自治会・商店会との協働により展開します。</p> <p>駅前の美化を進めることにより、違法駐輪を防止し、車椅子利用者も含めた歩行者等の安全確保も図ります。</p>
目標・指標	<p>3駅で年2回の植え替えを実施。</p> <p>区内JR3駅(浦和駅、北浦和駅、与野駅)東西駅前周辺に季節の花を植えるため、今年度は2回に分けて実施することにしました。</p>
実績・成果	<p>3駅で延べ6回の植え替えを実施。</p> <p>3駅の周辺で2,463本の花を植えました。各団体会から選出されたメンバーによる実行委員会が主体となって実施したことで、区民の環境意識を高めることができました。歩行者等の安全確保も合わせて、協働・福祉のまちづくりの推進にも繋がっています。</p>

この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？

【回答%】 \ 選択肢	1 有効・必要である	2 なんとなく いえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:446人)	85%	12%	3%
有識者(回答数:20人)	80%	20%	0%

《上記①で、1または2を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:434人)	32%	50%	15%	3%	0%
有識者(回答数:20人)	30%	40%	30%	0%	0%

(5) 妊産婦の健康管理や子育て支援事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	<p>区民の健康増進の一環として、妊産婦の健康管理や子育て支援のための事業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦母親学級、両親学級、育児学級、離乳食教室、むし歯予防教室、親子教室 ◦育児相談 ◦妊産婦・新生児訪問、母子訪問 ◦乳幼児発達健康診査
目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> ◦母親学級 27 回、両親学級 12 回、育児学級 6 回、離乳食教室 12 回、むし歯予防教室 12 回、親子教室 22 回 ◦育児相談 35 回、常設相談随時 ◦妊産婦・新生児訪問延べ 880 件、母子訪問延べ 650 件 ◦乳幼児発達健康診査 12 回 <p>母親学級～両親学級などの教室については、受講者の出産予定日や対象児月齢などが決まっているので、機会平等に受講できるよう均等間隔で実施します。</p> <p>親子教室については、子どもの発達を促し、母親に子どもとのかかわり方を学んでもらうという目的を達成するため、1人の子どもに対し月2回程度で6か月間参加してもらえるようにします。</p> <p>育児相談は、保健センター会場を月2回ずつ、各地区公民館会場を月1回程度で巡回するように回数を設定します。</p> <p>訪問については、前年度実績に基づいて計画しました。</p> <p>妊産婦・新生児訪問は出生数の約35%の子どもを訪問することにしました。</p>
実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ◦母親学級 24 回、両親学級 11 回、育児学級 5 回、離乳食教室 11 回、むし歯予防教室 22 回、親子教室 19 回 ◦育児相談 32 回、常設相談延べ 191 人(常設相談は、1月末までの集計) ◦妊産婦・新生児訪問延べ 880 件、母子訪問延べ 752 件(訪問は、1月末までの集計) ◦乳幼児発達健康診査 12 回 <p>教室や相談事業については目標どおり実施中です。</p> <p>また、妊産婦・新生児訪問については、1月の時点で目標を100%達成し、母子訪問についても、1月の時点で115%を達成しています。</p> <p>受講者が各教室に参加することで、それぞれの教室が目的とする妊娠から子育て中に関する健康や発育発達、育児についての知識の習得ができました。</p> <p>また、育児相談や発達健康診査、親子教室に参加することで、日常の育児</p>

<p>方法を学んだほか、発育発達の相談を受けることでの育児不安軽減や、母の健康(こころとからだ)についての相談ができています。</p> <p>なお、保健センターとしては母子保健に関するすべての事業において、虐待予防の視点でのかわりを実施しており、上記の教室、健診、相談、訪問を通して、その目的も達成できるよう実施しました。</p>				
<p>この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？</p>				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:446人)		89%	10%	1%
有識者(回答数:20人)		100%	0%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

<p>②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？</p>						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:441人)		33%	47%	16%	3%	1%
有識者(回答数:20人)		20%	80%	0%	0%	0%

(6) うらわメタ防クラブ事業

区長 評価	C
----------	---

目的・内容	<p>区民の健康増進の一環として、生活習慣病予防のための正しい知識の普及を図る事業です。命にかかわる虚血性心疾患(主に心筋梗塞)や脳血管疾患(主に脳梗塞)を引き起こすリスクが高くなる内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目し、65歳未満までの方を対象に、保健センターや区内の公民館などを会場に実施します。</p>
目標・指標	<p>多くの区民が参加できるよう月1回(年12回)実施します。</p> <p>さらに区民が参加しやすいよう、浦和コミュニティセンターで実施するほか、開催回数を3回増やして、開催場所を公民館に広げます。</p> <p>また、自主グループ(仲間と共に運動習慣を継続していくグループ)を支援していく場が必要であることから、年3回実施することとします。</p>
実績・成果	<p>・保健センターで7回実施。</p> <p>・浦和コミュニティセンターで8回実施。</p> <p>・公民館で3回実施。</p> <p>実施後のアンケートで、教室の場所は約99%の方が参加しやすい、教室の日時は87%の方が参加しやすいと答えました。</p> <p>アンケートの意見・感想の中では、「食事を見直したい」「家でも続けられそう」など、参加者が食生活や運動習慣を見直し、改善していく動機付けになりま</p>

	<p>した。また、「毎回実施して欲しい」「機会があればまた参加したい」という意見が多く得られました。</p> <p>自主グループについては、メンバーの参加は少なかったのですが、自主グループ以外の区民の参加も受け入れたことにより、区民が参加する機会が増えました。</p>			
この事業は、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしえない	3 有効・必要とは思わない
【回答%】				
一般(回答数:449人)		63%	32%	5%
有識者(回答数:20人)		85%	15%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
【回答%】						
一般(回答数:427人)		16%	45%	34%	4%	1%
有識者(回答数:19人)		16%	58%	21%	5%	0%

(7) (1)～(6)の事業について、個別にお伺いしましたが、「やさしく、人間味豊かなまちづくり」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
【回答%】						
一般(回答数:435人)		14%	59%	19%	6%	2%
有識者(回答数:19人)		16%	74%	10%	0%	0%

5 「参加と協働によるまちづくり」のための取組

(1) コミュニティの広場事業

	<table border="1"> <tr> <td>区長 評価</td> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	区長 評価	B
区長 評価	B		
目的・内容	浦和区では、地域コミュニティの活性化に向けた活動をしている様々な団体を「コミュニティ会議」として認定しています。「コミュニティの広場」は、それらの団体どうしの交流及び区民会議との情報交換をする場として、また各団体が区民に向けて情報を発信するための場として実施するものです。		
目標・指標	コミュニティ会議どうしの交流を図る交流会及び区民へ向けた啓発活動を行うため、「コミュニティの広場」を2回実施することとしました。		

実績・成果	<p>意見交換会 12月開催。研修会 3月予定。</p> <p>それぞれが抱える課題、問題意識などを話し合うことができ、コミュニティ会議の発展について有意義な意見交換ができました。</p> <p>なお、3月には、浦和区の市民活動の現状と課題について学ぶ研修会と、「区民のつどい」における啓発事業を行います。</p>			
この事業は、「参加と協働によるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:449人)		47%	48%	5%
有識者(回答数:20人)		75%	20%	5%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:424人)		9%	37%	51%	2%	1%
有識者(回答数:19人)		10%	53%	27%	10%	0%

(2) FM 放送による広報事業

		区長 評価	C	
目的・内容	コミュニティFM放送(78.3FM)を活用して、浦和区及びさいたま市の様々な催しや施策・取組に関する情報を地域の皆さんに提供する事業です。			
目標・指標	<p>広報放送毎日4回。</p> <p>浦和区及びさいたま市の行政情報をより多くの区民に提供できるよう、1日に4回の放送を行なうことにしています。番組は月に8本作成します。</p>			
実績・成果	<p>広報放送毎日4回。</p> <p>生放送による行政情報及び緊急情報の提供により、情報発信の充実を図ることができました。</p>			
この事業は、「参加と協働によるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんともしえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:450人)		44%	41%	15%
有識者(回答数:20人)		50%	40%	10%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:387人)	15%	32%	48%	4%	1%
有識者(回答数:18人)	6%	50%	32%	6%	6%

(3) 環境に配慮した活動(ISO14001)推進事業

区長 評価	D
----------	---

目的・内容	平成 20 年度に認証取得した ISO14001 の取組を継続し、区民との協働により、職員一人ひとりが環境の保全を意識し、地域における環境負荷の低減に積極的に取り組むものです。
目標・指標	用紙使用量、燃料使用量(CO2 換算)ともに平成 19 年度比 - 3%。 区役所全体の取組として、紙と燃料の使用量を減らすことを選び、具体的な目標として、平成 19 年度の使用量に比べ、どちらも 3%の削減を目指すことにしました。
実績・成果	用紙使用量 + 0.58%。 燃料使用量(CO2 換算) - 14.30%。 用紙については、会議で配布する資料等を見直すなど、区役所全体で使用量削減に取り組みましたが、今年度は、特に用紙を多く使う業務があったこともあり、12 月末現在では目標を下回ってしまいました。 燃料については、燃費を考えた公用車の運転や自転車の活用に努めた結果、目標を大きく上回っています。 また、各部署の個別の取組も含めて 12 月に外部審査を受けた結果、ISO 14001の認証を更新することができました。

この事業は、「参加と協働によるまちづくり」のために、有効または必要な事業だと思いますか？

【回答%】	1 有効・必要である	2 なんとなく いえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:448人)	76%	20%	4%
有識者(回答数:20人)	90%	10%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】	1 適切・十分	2 おおむね 適切・十分	3 どちらとも いえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:428人)	19%	43%	27%	8%	3%
有識者(回答数:20人)	15%	50%	30%	5%	0%

- (4) (1)～(3)の事業について、個別にお伺いしましたが、「参加と協働によるまちづくり」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:434人)	12%	45%	34%	7%	2%
有識者(回答数:20人)	10%	50%	15%	20%	5%

6 「区民満足度アップ」のための取組

(1) 浦和区明るい区役所づくり推進事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	浦和区役所の職員一人ひとりが、区民の皆様身近な区役所の顔としての自覚と責任感を持って行動し、親しみやすく、利用しやすい「明るい区役所」を目指すという取組です。
目標・指標	スピーディーで親切的窓口対応の実現と、明るい区役所づくりを総合的かつ効果的に推進するため、「浦和区明るい区役所づくり推進委員会」を設置し、区役所全体で取り組む具体的な行動内容を選定し、さらに職員が各自で実施状況を自己評価することにしました。
実績・成果	区長を委員長とする「浦和区明るい区役所づくり推進委員会」を10月に立ち上げ、「明るい区役所づくり」に欠かせない窓口対応や電話対応における具体的な行動を13項目選び、H22年1月より全職員で実践しています。1月の取り組み状況調査では、全項目で職員の4割以上が「実践した割合80%以上」と回答しています。

この事業は、「区民満足度アップ」のために、有効または必要な事業だと思いますか？

【回答%】 \ 選択肢	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:451人)	73%	24%	3%
有識者(回答数:20人)	85%	10%	5%

《上記①で、1または2を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？					
【回答%】 \ 選択肢	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:433人)	16%	40%	34%	7%	3%
有識者(回答数:19人)	16%	58%	26%	0%	0%

(2) 区役所職員の接遇研修事業

区長 評価	C
----------	---

目的・内容	区役所職員の接遇に関するスキルアップを図るため、外部から専門の講師を招いて研修を実施するという事業です。			
目標・指標	10月に実施。 より多くの職員が受講できるよう期日を設定しました。また経費の節減を考慮し、大宮区役所と共催することにしました。			
実績・成果	10月21日に実施。 百貨店の職員研修担当者を講師に招いて実施しました。参加職員は18名で、「お辞儀の角度」といったあいさつの基本はもちろんのこと、庁舎内での道案内といった実技指導を受けました。			
この事業は、「区民満足度アップ」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:449人)		61%	29%	10%
有識者(回答数:20人)		75%	25%	0%

《上記①で、1または2を選択された方へ…》

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:403人)		14%	37%	38%	8%	3%
有識者(回答数:20人)		5%	60%	20%	10%	5%

(3) 認知症サポーター養成講座事業

区長 評価	B
----------	---

目的・内容	認知症の人とその家族の方の気持ちを理解し、応援することにより、誰もが暮らしやすい地域を作っていく、という運動の一環として「認知症サポーター」の養成が全国規模で展開されています。この講座はそのサポーターを養成する事業です。
目標・指標	区民対象と区役所職員対象の講座を3月までに実施。 区民の方を対象とした講座を実施することにより、認知症の人とその家族を地域で支えるとともに、区役所職員の認識を高め、窓口対応等の質的向上も図っていくことを考えました。
実績・成果	職員対象 11月19日、小学校5年生対象 12月4日、中学生対象 12月15日、一般区民対象 2月7日に実施。 参加者は、職員が27名、児童が140名、生徒が250名、一般区民が29名

	でした。参加者アンケートでは、「認知症に対する理解が深まり、認知症の人への関わり方を学ぶことができた」といった主旨の回答を多数いただいています。			
この事業は、「区民満足度アップ」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:445人)		85%	13%	2%
有識者(回答数:20人)		85%	15%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:525人)		16%	38%	38%	6%	2%
有識者(回答数:26人)		8%	46%	46%	0%	0%

(4) 業務改善事業

区長 評価	B
----------	----------

目的・内容	区役所のすべての業務について、職員一人ひとりが、常に改善を心がけ、アイデアを出し合い実践していくという事業です。 実践されたアイデアは、「カイゼンメモ」という報告書により、区の業務改善委員会に提出され、区役所全体で共有、活用されます。			
目標・指標	ちょっとした工夫やアイデアも含めて、カイゼンメモの積極的な提出を促進するため、業務改善委員会は随時開催としました。			
実績・成果	カイゼンメモが34件提出されました。委員会を通して区役所のすべての部署に周知され、区民サービスの向上に結びついています。			
この事業は、「区民満足度アップ」のために、有効または必要な事業だと思いますか？				
【回答%】	【選択肢】	1 有効・必要である	2 なんとなくいえない	3 有効・必要とは思わない
一般(回答数:449人)		76%	20%	4%
有識者(回答数:20人)		90%	10%	0%

《上記①で、1または2 を選択された方へ…》←

②この事業の、「実績・成果」をどう思いますか？						
【回答%】	【選択肢】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:429人)		17%	37%	37%	6%	3%
有識者(回答数:19人)		5%	63%	27%	5%	0%

(5) (1)～(4)の事業について、個別にお伺いしましたが、「区民満足度アップ」のため取り組んだ事業全体について、どう思いますか？

【回答%】	1 適切・十分	2 おおむね適切・十分	3 どちらともいえない	4 やや不適切 やや不十分	5 不適切 不十分
一般(回答数:430人)	10%	46%	31%	9%	4%
有識者(回答数:20人)	10%	55%	20%	10%	5%

質問2 今後、あなたが浦和区で重点的に取り組んでほしいと思う分野を2つ選び、その番号を○で囲んでください。

選 択 肢	一般 回答数 (計 876 件)	有識者 回答数 (計 36 件)
1 自然・環境に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全・再生 ●緑化の推進 ●リサイクル活動 など	138	5
2 健康・福祉に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援 ●高齢者支援、障害者支援 ●健康づくり など	349	13
3 歴史・文化・伝統に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習・スポーツレクリエーション ●地域文化の保全活用 ●芸術・文化活動 など	74	6
4 安全・生活環境に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ●防犯・防災 ●交通安全対策 ●生活道路緊急修繕等 など	280	7
5 地域交流に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ活動の支援等 ●交流イベント ●情報発信 など	35	5

属性(アンケート回答者の状況)に関する設問 …該当番号を選択する

《一般評価》

年代別回答人数(割合) 無回答:48人

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳
32人(8%)	68人(17%)	81人(20%)	60人(15%)
5. 60～69歳	6. 70～79歳	7. 80歳～	計
87人(21%)	62人(15%)	21人(5%)	411人(100%)

性別人数(割合) 無回答:49人

1.男性	2.女性	計
168人(41%)	242人(59%)	410人(100%)

回答者の居住年数 無回答:49人

1.1年未満	2.1~3年未満	3.3~5年未満	4.5~10年未満
21人(5%)	25人(6%)	27人(7%)	38人(9%)
5.10~20年未満	6.20年以上	計	
70人(17%)	229人(56%)	410人(100%)	

《有識者評価》

年代別回答人数(割合) 無回答:3人

1.20~29歳	2.30~39歳	3.40~49歳	4.50~59歳
0人(0%)	0人(0%)	1人(6%)	3人(18%)
5.60~69歳	6.70~79歳	7.80歳~	計
3人(18%)	9人(53%)	1人(6%)	17人(100%)

性別人数(割合) 無回答:3人

1.男性	2.女性	計
10人(59%)	7人(41%)	17人(100%)

回答者の居住年数 無回答:3人

1.1年未満	2.1~3年未満	3.3~5年未満	4.5~10年未満
0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)	1人(6%)
5.10~20年未満	6.20年以上	計	
0人(0%)	16人(94%)	17人(100%)	

この評価書についてのお問い合わせ先

さいたま市 浦和区役所 総務課

電話 829-6015

FAX 829-6233

『平成21年度 さいたま市 浦和区 区長マニフェスト評価書』を、
ご覧いただきありがとうございました。

この評価書は、皆様の貴重なご意見などを基にすることができま
した。アンケートにご協力いただいた方々に、厚く感謝申し上げます。

